

## 第5回 部活動地域連携・地域移行協議会を終えて

今年度第5回の協議会を令和6年10月25日(金)に開催しました。協議会では、「生徒、教員、地域の受け皿となる可能性のある団体等の皆様の実態把握や意向を把握するためのアンケート項目」について協議を行いました。また、アンケート実施後のガイドラインの作成やモデル事業実施を見据え、全体会では、本市と同規模(人口、中学生の生徒数)の自治体のガイドラインの作成状況や、地域や種目の特性を踏まえた移行のスケジュールについて、共有する時間を設けました。

### 小委員会1:「生徒に直接関わること」を中心とした協議

#### ◎アンケートについて

- ・「地域移行」について「何がどのように移行される可能性があるか(活動内容、活動場所、指導者等)について、前文で示し、生徒に「何を聞きたいのか」を明確にする。
- ・アンケートの対象を第1・2学年とする。時期は検討していくが、年度当初に実施する場合は第1学年の生徒が部活動の経験がほとんどないことに留意する。
- ・仮に地域移行するならば、自分が参加・活動してみたい種目をアンケート項目に入れた方がよい。
- ・現状の部活動や今後の地域での活動に参加したい目的を自由に記載できるようにする。

### 小委員会2:「教員・部活動外部指導員」を中心とした協議

#### ◎アンケートについて

- ・多摩市の現状の部活動を踏まえたアンケート項目に修正する。(例: 昨年のアンケートの項目にあった、「主顧問・副顧問」については、定めていない学校もあり、「顧問」として統一する。)
- ・現状の部活動について、「日常の活動を伴うもの」と、「中体連(公益財団法人日本中学校体育連盟)」に係る中学校関東大会や全国大会等に学校として参加するために、水泳や新体操等、時期を限定して行うもの」があることに留意する。
- ・実態のより丁寧な把握のため、顧問教員の専門性や、指導経験の有無、経験年数等もアンケートで確認する。

#### ◎ガイドラインについて

- ・アンケートをいかに活用するかが重要であり、そのために、アンケートの対象、内容、時期を精査していく。

### 小委員会3:「地域移行」を中心とした協議

#### ◎アンケートについて

- ・部活動の地域移行後の地域クラブ活動としての受け皿が、どのくらいあるのかを把握するためのアンケートであることを踏まえ、アンケートの目的を丁寧に説明していくことが必要である。
- ・アンケートは、協議会にご参加いただいている「多摩市体育協会」「多摩市文化団体連合」の加盟団体に加え、多摩市立公民館の施設利用者や、多摩市立小・中学校の校庭・体育館等の解放利用者にも対象を広げ、より広く、把握していく。

#### ◎ガイドラインについて

- ・アンケートの一部には、今後実施するモデル事業について、その趣旨を示し、現時点でご協力をいただくことができるかについても記載し、今後の協議やガイドラインに生かしていく。

#### 【まとめ】(委員長から)

- 本日の協議会で出されたアンケートに関する意見については、修正をしてアンケートを実施したり、次回の協議会で再度アンケートの内容や時期等の協議をする。協議やガイドライン策定に活用していく視点を大切にする。
- 部活動の地域移行については、「生涯にわたり、文化やスポーツに親しむことができるための取組」という視点が大切であることに留意しながら、今後も引き続き協議をしたり、地域、生徒、保護者等にも説明を丁寧にしていくことが大切である。
- 目指すところの持続ができる団体、システムを考えていく。そのために、ガイドライン策定のための検討を進めていく。

